

参考文献 「ピューリタニズム」

- (1) 大下尚一（訳・解説）『ピューリタニズム』アメリカ古典文庫-15、研究社、1976。
- (2) 大下尚一 「ピューリタニズムの形成と伝統」『ピューリタニズムとアメリカ』、南雲堂、1976。
- (3) A・シンプソン『英米におけるピューリタンの伝統』、未来社、1977。
- (4) 柳生 望『アメリカ・ピューリタン研究』日本基督教団出版局、1981。
- (5) Max Weber, 大塚久雄訳『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』、岩波書店、1988。
- (6) 大西直樹『ピルグリム・ファーザーズという神話—作られた「アメリカ建国」』、講談社選書メチエ、1998。
- (7) 大西直樹『ニューイングランドの宗教と社会』、彩流社、1997。
- (8) 齊藤 眞「多元的社会アメリカの史的原点—メイフラワー誓約とその統合機能」『アメリカとは何か』、平凡社、1995。
- (9) 岩井 淳『千年王国を夢みた革命—17世紀英米のピューリタン』、講談社選書メチエ、1995。

ピルグリム・ファーダース 資料

メイフラワー号乗船者の内訳

	聖徒 (Saints)	よそ者 (Strangers)	雇人	奉公人 (Servants)	合計
男性	17	17	3	11	48
女性	14	9	0	1	24
未成年	10	14	0	6	30
合計	41	40	3	18	102

「メイフラワー誓約」

神の名に於いて、アーメン。我等の統治者たる君主、又神意により英国王、フランス及びアイルランドの王にして又信仰の擁護者たるジェームス王の忠誠なる臣民たる我等下名は、神の栄光のため、基督教の信仰の増進のため、及び我が国王と祖国の名誉のために、ヴァージニアの北部地方に於ける最初の植民地を創設せんとして航海を企てたものであるが、ここに本証書により、厳粛且つ相互に契約し、神と各自相互の前で、契約により結合して政治団体を作り (covenant and combine ourselves together into a civil Body Politic)、以て我等の共同の秩序と安全を保ち進め、且つ上掲の目的の遂行を図ろうとする。そして今後之に基づき、植民地一般の幸福のため最も適当と認められる所により、随時、正義公平な、法律、命令等を発し、憲法を制定し、又公職を組織すべく、我等はすべて之等に対し、当然の服従をすべきことを誓約する。AD1620年、英国王、フランス及びアイルランド王としてのジェームス王の治世の第18年、スコットランド王としての治世の第54年、11月11日、ケープ・コッドに於いて、

以下、41名の署名